

今回は「2013年ゴールデンウィーク（GW）の考察」について述べたい。だんだんと暖かくなり、お客さまの動きが活発になってきており、GWやその付近の予約もウェブ上で見られるようになってきた。そこで、今年のGWについて考察してみたい。

まず、今年のGWは非常に読みやすい日程であることが動いている。日本中で客

インターネット 第74回

徹底集客

多くの方が感じているのではないだろうか。なぜならば、日並びが去年とほとんど同じ構成であるからだ。4月27、28日の前半のピークがあり、29日～5月2日まで中日があり、5月3、4、5日と、2回目のピークがやってくるという具合である。

去年、4月27日～5月6日を通して、ピーク日やそこがあるから料金アップをし

室が足りなくなる5月3、4日の集中中日の緩和という点では良い方向に作用しているように思う。

もう一つの傾向として、は、より細かなレートコントロールが目立つ。『去年の動きを参考にわが地域は例年、少し弱めだから4月28日は落とそう』であるとか、『5月2日は逆に需要

ておこう』などと、料金フレンドラーを観察していると、各施設の思いが感じられて興味深い。即時にレートコントロールができるウェブならではの緻密さである。

プラン上では、やはりGWの早割が隆盛で、中日を狙ったスラ得（スラしてお得）が顔をそろえる。また、近年の傾向であるが、以前に述べたオンラインカード決済限定の早割プランも散見されるようになり、GWの早期予約を固め、たとえ直前でのキャンセルがあってもキャンセル料をきっちり徴収し、売り上げを落とさないような工夫をしている。

春先一番の勝負ポイントは既に始まっている。是非、過去の教訓を生かして売り上げ最大化を図ってほしい。

（株式会社アビリティコンサルタント 的場弘明）

〓隔週掲載